



龍門滝



かじき

広報

題字 宇都宮町長

人口・世帯の動き

(平成6年8月1日現在)

総人口23,486人(△30)	出生 15人
男 10,973人(△10)	死亡 21人
女 12,513人(△20)	転入 98人
世帯数 8,576(△10)	転出 122人

●()内は前月との比較●

ようこそ 西政の娘さん

「私はアン・マリア・フイーランです。加治木町のみなさん、よろしく願います」

ニッコリと素敵な笑顔を見せるのは、国際交流員(CIR)として、はるばるアイルランドからやってきた、青く澄んだ瞳がとても魅力的なアンさん。

この八月から一年間、加治木町役場企画課に在籍し、職

員と一緒にいろいろな仕事をしていくことになりました。みなさん、彼女を見かけたら気軽に話しかけてみてください。気さくな感じで、とても親しみのある女性です。英語でも構いませんが、彼女は日本語はすごく上手です。



何ともおおらかで開放的な笑顔

平成6年

8

今月のページ

☆特集・ホテルに魅せられて……2～3ページ ☆国際交流員・かじがらす……4ページ ☆声かけおじさん……5ページ ☆夏まつり……6ページ ☆保健婦だより……7ページ ☆バンド「SGD」……8ページ ☆椋鳩十文学記念館……9ページ ☆おしらせ……10ページ

月号

●No. 478

発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62-2111 ●

特集

上野武次先生(加治木小教諭)

鹿児島県ホテルを育てる会 会長



自分たちのふるさとをホテルの里にしようと
多くの人が加治木小を訪れる……8/2

最近、加治木町が鹿児島県下に誇れるものが少なくなったが、この人は有名である。ホテルの権威者として、県内外を東奔西走している上野武次先生である。

なりは小さいが、声はおどろくほど大きく、またその夢はさらにでかい。性格はおおらかにして、あまり小事にこだわらない。昔ふうにいえば豪放磊落。普通、先生たちは地域では敬遠されがちで、人々は遠巻きに接している感があるが、上野先生は例外である。自ら先生という衣を脱ぎ捨て、普段着のまま地域に溶け込み、馬踊り

などの郷土芸能などに積極的に参加し、特に昨年から木田地区の太鼓踊りにも挑戦中である。

また、学校ではもちろん、地域に帰っても子どもたちと壁をつくることなく、真剣になって一緒に遊んでいる。要するに、先生は子どもが好きなのである。子どもと接するときの、やや大きめのメガネの奥に光る眼は、いつくしみとやさしさにあふれている。

さて、上野先生は今年の三月、「鹿児島県におけるホテル生息条件の基礎的研究と生息分布調査の研究」という、ちよっと長めのテ

私の道標は
フアィヤーン！



上野先生

ホタルに魅せられて

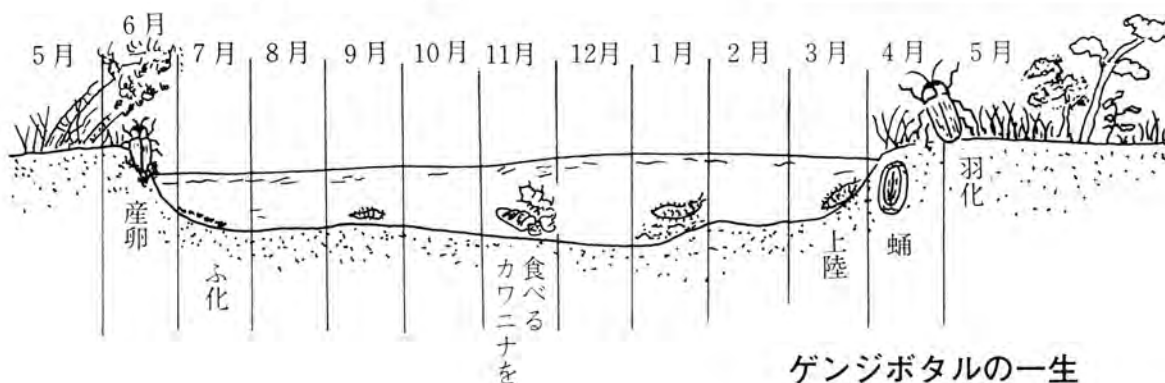


できあがった研究書

ゲンジボタルは、どうも日本だけしかないといえそうである。水生ボタルは日本を中心に生息しているというのはおもしろい。ゲンジボタルは鹿児島県では、屋久島から届いている。南限がどこまでなのか、まだ明らかでない。ヘイケボタルは沖縄にも生息しているというから、日本全土といえる。

ゲンジボタルはヘイケボタルに比べて光も強く、大きさも大きい。雄に比べ……

(上野先生の著書より)



研究の成果で

ホタルの一生も

「マで、文部省の平成五年度科学研究費補助金を受け、その研究成果を『私の道標(みちしるべ)』はファイヤーフライ」という本に集約された。

本は55ページからなり、その内容はホタルとの出会いから生息観察、人工飼育、県内の生息分布、各地のホタルをみる夕べ、私の考えなど十二章に構成され、ち密な調査や現地視察を通し、あらゆる角度からホタルを研究、ホタルは自然環境のバロメーターと説かれている。加治木小学校の山下透前校長は「鹿児島県でもホタルの研究書としてはきわめて貴重なものです」と絶賛されている。

ホタルとの出会いは、赴任先の宮之城町立佐志小学校の七年前にさかのぼる。「カワニナを見つけ、ホタルを育ててみよう」というPTA会長の言葉に動かされ、ホタルの先進校である鹿児島市立中山小学校に出かけ、ホタルのイロハを勉強。以来、ホタルに魅せられ、カワニナを求めては県内を限なく歩いたということである。カワニナとはホタルのエサである。

ホタルについての本格的な研究活動は、ここ加治木小学校に赴任してからといえる。その前、鹿児島県ホタルを育てる会を結成、その会長を務めるかたわら、県内外の研究家との情報交換に多忙をきわめている。

現在、加治木小学校で六年生十人の自然少年団を組織し、子どもたちと一緒にホタルはもちろん、

自然環境の観察にも目を向けて活動を展開しているが、先生のもとには県内外からたくさんさんのホタル関係者が訪れてくる。

夏休みを利用した八月二日、指宿市の魚見小学校の子どもたち二十八人が来加したが、この日は、加治木町ホタルを育てる会々長の鹿倉末雄さんも同席し、上野先生とともにやさしく分かりやすく応対されていた。その席にはもちろん、自然少年団のメンバーも顔をそろえていたが、彼らは魚見小の子どもたちを前に、ホタルについては、いささか先輩という自負があるのか、自信ありげに胸を張っていたのがほほえましかった。

さて、上野先生のライフワークはもちろんホタルだか、その真意とするとところは、自然環境と人の結びつきにある。端的に言えば、人が自然と共存する世界を模索し続けること、もっと分かりやすくいえば、自然を大事にすることが大事だと説いているのである。それには人のあたたかい思いやりが必要だが、先生はこどもたちのためにその道標(みちしるべ)になることをいとわれない。

先生はホタルを通して、二十一世紀を担っていく子どもたちに、自然環境の中で培われる心のあたたかさや自然の大切さを教えているのである。

▼プロフィール

鹿児島県ホタルを育てる会々長、加治木小学校教諭、町内上木田在住。

国際交流員

アン・マリア・フィーランさん

いろいろな催し物に

呼んでください

町が国際交流員として招いていたアン・マリア・フィーランさん（二十二歳・女性・アイルランド共和国）が八月三日、空路東京から鹿児島空港に降り立ち、加治木町役場を訪れました。

これは、外国青年招致事業として三月の定例議会で承認されていたもので、アンさんは正式には八月四日から一年間、加治木で過ごすことになります。

就任式は翌八月四日、職員らの見守るなか体育館で行われましたが、「加治木をよく知って、子どもたちと仲良くなりたい……」な

どと流暢な日本語で抱負を語ってくれました。

これから、町のいろいろな催し物や、地方色豊かな各地域の行事を見聞したりして、多くの方と交流していきます。町内のいろいろな団体、職場のみなさん、アンさんを招いての交流を希望されるときは、役場企画課までご連絡ください。

また、広報かじきの編集などにも加わっていただき、英会話欄やアイルランドと加治木の歴史や文化、風土や気候などを紹介したいと計画しています。

ヒラメ一万尾を放流

錦海
漁協



早く大きくなって！

「錦江湾を魚の宝庫にしよう」と錦海漁協は七月二十二日、ヒラメの稚魚一万尾を放流しました。このごろ続く猛暑のおかげで錦江湾も暑く、ヒラメの稚魚もなんだか海が恋しそう。組合員が網を投げ出すのもどかしく、ヒラメたちは威勢よく海原に飛び込んでいました。

早く大きくなってネ——。



国際交流で友だちに……



辞令を受けるアンさん



▼国際交流
たけなわである。七月二十六日、十七名の外国人青年が加治木を訪れた。

これは、県下十か所で催された「94国際青年の村」という外国青年との交流事業。加治木もその歓迎町に選ばれた。参加したのはパキスタン、ヨルダン、トンガ、タンザニア、香港、スペイン、アルゼンチンなどの国々のメンバーである。

国際交流で得るものは……

自分の目で足で確かめる

▼龍門滝温泉の二階和室で歓迎が行われたが、そのとき、外国青年、「94国際青年の村」実行委員のスタッフ、地元青年らを前に、宇都宮町長がまず冒頭に「誰か日本語のわかる人がいますか」と外国青年を見つめながら聞いた。誰もいない。会場はシーンと波うつている。そのとき、おもむろに手を上げた若者がいた。それを見て一瞬、日本青年らは啞然となった。それもそのはず、彼は地元青年団のメンバーだったのである。途端に、会場は笑いの渦に飲まれ

たが、さすがに外国人にはその笑いは通じなかった。片言の日本語は理解できても、その雰囲気のかもしだすジョークまでは解しかねたようだ。

▼さて、一行は加治木町が観光目玉として整備中の、「さえずりの森」の休養施設へと、竜門司坂の石だたみを歩きながらのぼった。着いたとき、お世辞とは思えないが、パキスタンのザフーという人が「きれいだ、私の国にはこんなきれいな緑はない。すばらしい……」と濃緑に映える樹木に目を丸くし、コ

ワゴワと硬そうな口ひげをふるわせた。パキスタンはインド砂漠の猛暑に見舞われるらしい。疲れ果てた木々は、あざやかな緑をつけきれないのだろう。言葉や環境、文化などすべてが異なる異境の自然に洩らす感動のつぶやき。素朴だが、何ともしばらしいつぶやきである。

▼世界は一つと、ただ口先だけで言っても何にもならない。百聞は一見にしかず。自分の目にしっかりと刻みつけ、自分の足でその地をしっかりと踏みしめてわかることなのだ。

町長と団長にはさまれて

花火大会は 五万五千人の人出！

夏まつり大会

第二十八回町夏まつり大会は八月七日に開催され、炎天下のもと蒲生田通りで行われたパレードでは、この猛暑を吹き飛ばせとばかりに、約二千人の出場者が気炎をあげていました。

また、加治木港で行われた花火大会は、昨年の豪雨災害のうっぶんを晴らすかのように例年の倍以上の出足を記録し、会場は港から人があふれでしなかつた心配するほどで、主催者発表では何と五万五千人の観客数。なかでも、しきのあきらショーの前に演奏したバンド「SGD」（加治木出身者が大半を数える）をひと目見ようと、会場は身動きできないほど

どの人垣がで、にしきのあきらの影が薄くなるほどの熱狂ぶり。だが、さすがにしきのあきらも年の功、その後、若者に支配されたフイーバー気分をがっちり自分のものにして、会場を魅力ある歌声で包みこんでいました。

ショーが終わると、夏の夜空は華やかな花火ショーに早変わり。みんなは、ドーンと腹にひびく快音を残し、頭上高く打ち上がる大パノラマに酔いしれていました。

□みこしコンテスト成績

〔幼児の部・参加十三チーム〕

優勝 川野保育園 A

〔小学校の部・八チーム〕

優勝 永原小学校子供会



壮大ななぐめです



絶好の釣り日和^{びより} 自慢の腕を競う

町観光キスつり大会

町観光キスつり大会は八月七日

開催され、キス重量賞は川内市の鬼塚時文さんが獲得しました。

この日は、絶好の釣り日和。町内外から参加した百三十七人の太公望が、早朝五時過ぎから二十五隻の船に乗り込んで自慢の腕を競いました。キス重量賞は惜しくも川内市の鬼塚時文さんにさらわれました。

〔成績・敬称略〕

キス重量賞 鬼塚時文（川内市）

キス大物賞 山田幸弘（吉田町）

アメ重量賞 宮崎まさし

（鹿児島市）

雑魚大物賞 前田妙子（加治木町）

少年の部 市原正道（牧園町）

女性の部 里光マキ子

加治木は総合四位

始良地区体育大会

第26回始良地区体育大会は七月三十日と三十一日の二日間開催され、加治木会場では水泳、バスケットボール、クレー射撃が戦われましたが、加治木町は総合四位と健闘をみせました。

なかでも、水泳女子と弓道は底力を発揮して堂々の一位でした。



水泳は1位



たのしみにしていました

敬老の部 平山進（加治木町）
船頭賞 野元勝乗（始良町）



昔とったキネヅカで…

保健婦だより

古いミシンが

活躍しています

保健センターでは、機能訓練として足踏ミシンによる寝たきり老人等のためのオムツ縫いをはじめました。

これは、みなさんから寄贈していただいた古いミシンで、機能訓練とオムツ縫いの一石二鳥をこなす、まだまだ私も使い途があると思われ、誇らしげに軽い音をたてています。

健康体操の指導を受けている方々、機能訓練教室を受けている方

々、そのほかにボランティアとして、すみれ、あやめ、つくしのグループの方々、食生活改善推進員、健康運動推進員、保健婦、看護婦の方々が、手足の訓練を通してのボランティア活動に意欲的に参加されています。

七月までの仕上がり

(一五八反・七九〇枚)

健康づくりの

ために

生活の中に運動を

歩くことから始めよう

一日三十分を目標に

息がはずむ程度のスピードで

運動を生かす健康づくり

栄養・休養とのバランスを

禁煙と節酒も忘れずに

家族のふれあい、友だちづくり

明るく楽しく安全に

体調に合わせてマイペース

工夫して、楽しく運動長続き

ときには楽しいスポーツも

9 月 行 事 予 定 表 (保 健 関 係)

日 曜	行 事	日 曜	行 事
1 木	健診結果報告会 7/28日分	16 金	3 か月児健診
2 金	1、2歳児歯科事業	19 月	健康相談 { 保健センター みろく公民館 } 肺がん検診 保健センター於
5 月	健康相談 { 辺川 保健センター } 健康体操	20 火	食生活改善推進員定例会 幼児学級
6 火	基本健診 訪問看護連絡会	21 水	機能訓練 小児成人病予防教室
7 水	育児学級 機能訓練	22 木	健康教室(成人病予防)
8 木	基本健診(保健センター於) 健康運動推進員定例会	23 金	秋分の日
9 金		26 月	健康相談、健康体操
11 日	1万歩ウォーキング	27 火	食生活改善推進員養成講座 肺がん検診 保健センター於 1才6か月児健診
12 月	健康相談、健康体操	28 水	機能訓練、母親学級 健康相談(龍門滝温泉)
13 火	食生活改善推進員養成講座 健康相談(龍門滝温泉於) 三種混合予防接種	29 木	肺がん検診 保健センター於
14 水	母親学級 機能訓練	30 金	福祉給食のつどい
15 土	敬老の日		

バンド「SGD」

全国大会を制覇

地元加治木中出身者が大半

みなさん、「SGD」をご存知ですか？

これはアマバンドの名称で、意味はスーパー・グレート・ダンサーズ、もうひとつの隠し名を「西郷どん」とか。加治木高校の元同級にはかの友だちを加えたもので、しかも大半が加治木中出身者。現在、鹿大生（二年）七人、社会人一人の八人。

彼らは、東京渋谷公会堂で五月五日開催された、「ティーンズ・ミュージック・フェスティバル94全国大会」に鹿児島県プロック代表として出場。その名のとおり、踊って踊って歌いまくり、

全国から集まった十九組のライバルを尻目に、「ティーンズ大賞」「オーディエンス賞」「あなたが大賞」の三部門を総なめし、おまけに文部大臣奨励賞まで受賞したのです。

もちろん、歌も演奏もうまいのですが、その奇抜な恰好と振付、それに売り物のダンスが観客に大受けし、現在、人気上昇中でテレビや県内の夏祭りに引っぱりだこで、加治木町の夏祭りにも出場。そのおかげか、港は

若者らで埋まり、五万五千の人数を記録しました。

彼らの夢はプロへと大きくふくらんでいるようですが、これも応援あつてこそのこと。みなさん、地元出身者のバンド「SGD」の名をしっかりと覚え、あたたかく見守ってください。

メンバーは、ボーカルの園田くん、リズムボーカルの立野くん、ギターの山田くん、ベースの満塩くん、ドラムスの弓削くん、ダンサーズの牧くん、鳥丸くん、山崎くん。



加治木のみなさんよろしく…



来年をたのしみに



しんけんに勉強して



夢はJリーグへと…

サッカーで

県選抜に選ばれる！

中村一志くんと
與那嶺一真くん

中 生
加 2 年生

加治木中学校二年生の中村一志くんと與那嶺一真くんがサッカーの県選抜に選ばれ、八月九日から大分県別府市で開催された九州ジュニアユース選抜サッカー大会に出場しました。

これは、八月二、三、四日に行われた桜島の合同合宿で決定したもので、合宿には県内から約百人の選手が参加。練習やテストの結

果、二人はエントリーした強豪選手をはねのけ、晴れて十八人のメンバーに名を連ねました。
中村君はFW、與那嶺君はGKのポジション。二人とも顔は真っ黒に日焼けして白い歯がとても印象的で、見るからに元気。「鹿児島県の代表ですので、しっかりとがんばってきます」と闘志をあらわにしていました。

人工呼吸をマスター

永原小学校PTA

永原小学校PTAは夏休みを前にした七月七日、体育館で人工呼吸の実技講習会を開きました。

これは、水のシーズンをむかえてPTAの研修部が開催したもので、始良郡西部消防組合の協力のもと、実物大のダミーを使って実

際に練習しました。

あまり人工呼吸法が役に立つ場面には出会わせたくないものですが、いざとなると、頭だけで覚えただけでは簡単にはできないものです。この日の経験が、人命救助に役に立つことでしょう。

ウナギ二十キを放流

川 協
網 掛
漁 網

網掛川漁協は七月九日、ウナギの稚魚二十キを小山田川や辺川、網掛川流域に放流しました。

これはくろこウナギで、特に精力がつきそうです。みなさん、来年のウナギ捕りはお楽しみに。

日韓児童文学セミナー 金聖道～人と文学を語る

広報かじき七月号で、日韓児童文学セミナー開催について紹介しました。

椋鳩十と金聖道の作品について語る会であると申しておいた。金聖道の作品を紹介することは限られた紙面ではむりであるが、椋鳩十の文学精神と共通する作品を残した韓国一流の作家であることは確かである。

今回は、金聖道の人と文学について概略述べてみることにします。

《経歴》

一九一四年 慶尚北道で出生
大学卒業後旧制中学校教師
一九四五年以後大学で児童文学を講義、「竹馬の友」誌編集
七一年 韓国児童文学作家協会副会長、小泉文学賞受賞
七九年 韓国現代児童文学作家協会会長
八一年 韓国児童文学賞受賞
八七年六月十日 他界
椋鳩十、八七年十二月二十七日 他界

《文学座》及び《著書》

一九二九年ごろから「星の国」「少年」誌等に童謡発表
三三年「新家庭」誌に作品入選
三七～四四年 童謡の作曲
四七～四九年、大邱で児童文学

活動

五六年 アンデルセン、グリム童話を英訳から翻訳
五八年～六一年 アンデルセン全集、グリム童話集 翻訳発刊
六五年(50歳)以降毎年童話集を発刊、童話集名次のとおり。

「セクトン」「ながれ星」
「花のふくろと福のふくろ」
「花のたねと人形」
「おはなしのふくろ」
「いち に さん」
「春風 秋風」

「ゆめをのせた風船」

「ひえと月」 以上

これらはすべて日本語訳されているのではないので、この記事の筆者(榎蘭)は、金聖道の作品の一部しかまだ読んでいない。従って、椋鳩十の作品と金聖道の作品を徹底的に比較するまでの材料を蓄えていない。

八月十七日の日韓児童文学セミナーを通して、今後研究の道が開けるものと期待しているところだ。

椋文学、椋作品は、生きるものの生命をだいにし、人類の平和を希求し、地球環境を守ろうというものであることを、今一度想起したいものです。

「ディスクカバーかごしま ふれあいバス」参加募集

加治木総務事務所



県では、県関連施設等を紹介するとともに、県民のみなさんに変わりつつある県の姿や、地域への愛着を深めてもらおうと「第一回 始良伊佐地区ディスクカバーかごしまふれあいバス」の参加者を募集します。

【実施日】 10月14日(金)
9時～16時まで

【見学先】

霧島国際音楽ホール
霧島神話の里公園

鹿児島県工業技術センター

椋鳩十文学記念館

【募集期間】 9月9日～30日

【募集人員】 50名

【応募資格】

始良郡内の18歳以上の方(親と18歳未満の子との組み合わせも可。ただし、人数は2人まで)

【応募方法】

往復ハガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入し、次の申込先までお送りください。ただし、申し込み者が定員をオーバーするときは抽選とします。

【その他】

バス乗車は無料(ただし、椋鳩十文学記念館の入場料は参加者負担。大人三百十円・小人二百十円。
昼食は参加者持参。

【申込・お問い合わせ先】

始良郡加治木町諏訪町12番地
(〒899-152)

鹿児島県加治木総務事務所

ディスクカバーかごしまふれあいバス係

☎63-3111(内線220・221・222)

現在、職業安定所(ハローワーク)には、多くの障害者の方々が仕事の申込みをされており、

(☎四五五三一)

「障害者雇用促進激励大会」

●日時 9月13日(火)
午後1時～4時

●場所 鹿児島市民文化ホール

※ 当日はアトラクション等も予定。一般住民、事業主の方々の参加をお願いします。

9月は 「障害者 雇用促進月間」 です

☆加治木文化財ウォッチングはお休みします。

出生児 保護者 自治会
徳永 愛美 浩幸 柳田
内海 夏希 拓也 西江口団地
妹尾 大地 和則 赤坂
花岡 璃鳴子 雄一 弥勒
上枝 立伸 忠 高井田
末川 顕寛 明裕 空港団地
安田 稔 司 赤坂
満園 雄大 秀彦 原ノ門
丸山 将矢 重典 高井田
竹下 真悟 美好 日木山団地
山瀬 知花 憲一 今町
古賀 美優 哲郎 明神
室屋 龍生 良一 赤坂
小島 友幸 道雄 蔵王団地
東 響 和樹 日木山団地
マ七月二十日までに住民台帳に記
載された分を掲載いたしました。

うぶ声



親子映画鑑賞会
〔棕鳩十文学記念館自由の館〕
日時 9月25日(10時)
映画 ①ハメルンの笛ふき



台風シーズンです



戸締りと避難は早めに!

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきました。
厚く御礼申し上げます。
ごめい福をお祈りいた
します。(一)は故人

五万円 町社会福祉協議会へ
岩原東 老山悦子(母シヅエ六)

②おしやれなクジャク
〔福祉センター〕
日時 9月10日(2時)
映画 ①ロビンソン漂流記
②いなかなみと
町のねずみ
主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子
多数ご鑑賞ください。
(都合によりフィルムを変更する
ことがあります。)

五万円 下新道 木佐貫マサ(夫良彦四)
二万円 春日団地 吉田ノリ子(夫昇七三)
十万円 天神 緒方マサ子(夫友記七三)
五万円 田中 四元トシ子(夫義照六)
五万円 鞍掛 泉 武磨(三男和司四)
三万円 鶴原 横山 勉(妻百合子五九)
五万円 上木田 鶴 マスエ(夫 忍七九)
二万円 須崎 永野 勇(祖母エイハ)
三万円 岩原東 宮田ヨリ子(夫一男六五)
三万円 毛上 馬庭エミ
二万円 (父 岩元秀親九二)

無料 人権法律相談
鹿児島県地方事務局加治木支
局のほか、次の人権擁護委員
の方々が、自宅でも御相談に
応じています。
お気軽に御相談下さい。
秘密は、固く守られます。
郡山政弘 木田一六三二一
(63-3585)
中摩多美子 反土二七五六
(62-2768)
篠崎利治 木田四二四二
(63-5175)

吉原 徳永洋子(夫 親輝六四)
十万円 竹下 中摩和子(夫 昭二六七)
五万円 里ノ下 宮田昭二(妻 祐子三五)
三万円 札立 大脇広志(父 光男六六)
三万円 下 嶽 前島篤雄(母テル子七九)
二万円 新中 東ミユ子(母ユキエハ)
五万円 向江町 米増豊子(夫 昭男六二)
三万円 楠原 榎田フミエ(夫美義八五)
三万円 岩穴口 福蘭キクノ(夫 榮七八)
五万円 高崎 吉村ヒメ(夫 薩志七四)

平成6年 9月在宅医表

4	鬼丸小児科	小児科 加治木町新生町127 ☎62-0308
11	松本外科	外科・胃腸科 加治木町木田724 ☎63-1911
15	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328
18	加治木整形外科	整形外科・理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
23	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823
25	壺岐内科	内科・小児科・循環器科 加治木町諏訪町196 ☎62-2222

※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

日曜・祝日 歯科救急診療 10時~15時 郡歯科医師会館
口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)

記事訂正とおわび

七月号の記事中誤りがありまし
た。深くおわびし訂正します。

(敬称略)

12頁「菖蒲の花を寄贈」の記事中
井出向實志→井手向實夫

〓町身体障害者福祉協議会へ〓
二万円 桑迫 今村テル子(夫直行七三)
一万円 新開 小原ヒデ(夫 親志七四)
〓町育英奨学資金へ〓
五万円 鞍掛 泉 武磨(三男和司四)
三万円 里ノ下 宮田昭二(妻 祐子三五)
マ七月二十日までの御寄付を掲載
いたしました。(年齢は満年齢)